

第6回 定例教育委員会議事録		日 時 : 令和4年6月24日 (金)	
場 所 : 菱刈庁舎3階大会議室			
開会、閉会に関する事項		10時00分 開会 10時38分 閉会	
	教育長 森 和範 教育委員 永野 治 教育委員 長野 吉泰	議場に出席した者の氏名	教育総務課長 平崎祐実 学校教育課長 竹下健一郎 社会教育課長 中村康雄 文化スポーツ課長 浅山典久 学校給食センター所長 有馬洋一郎 書記 茶園浩幸 書記 中原百恵
議事日程	別紙のとおり		
	審議状況		
	<p>(森教育長) ただいまから令和4年第6回定例教育委員会を開会します。</p> <p>(茶園係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。</p> <p>(森教育長) 「令和4年第5回定例教育委員会議事録の承認」を議題とします。事務局より報告をお願いします。</p> <p>(茶園係長) 令和4年第5回定例教育委員会議事録について報告(別紙「概要報告書」により報告)</p> <p>(森教育長) ただいま事務局より前回の議事録の報告がありました。ご質問等ないでしょうか。</p> <p>(全員) ありません。</p> <p>(森教育長) 報告のとおり、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(全員) はい。</p> <p>(森教育長) 令和4年第5回定例教育委員会議事録については、承認いたしました。</p> <p>続きまして、教育長及び委員の報告に移ります。</p> <p>教育長報告については、お手元の5月26日から6月23日までの教育長諸般の報告をもとに説明します。</p> <p>(別紙「諸般の報告」により日を追って報告)</p> <p>(森教育長) 続きまして、委員の皆様方からのご報告をお願いしたいと思います。まず、永野委員お願いいたします。</p> <p>(永野治委員)</p>		

はい。まず、教育長もおっしゃったように学校訪問ですが、5月30日に大口東小学校と大口小学校、6月6日に山野小学校と平出水小学校、6月9日に羽月小学校と羽月西小学校、最後6月13日に湯之尾小学校で、6月までに予定されていた学校訪問が終わりました。内容についてはその都度コメントしていますが、今までと変わったところと言いますと、学校が理路整然と非常によく整理整頓されすっきりしていると感じました。以前は色々なところに色々なものがあり、整理はされていますが学校に必要かどうかと思うものがありましたが、今回は全部の学校が良く整理整頓されている印象でございました。良く指導されているところを感じました。学力等も全体的にあがって、本当に良い授業が展開されているというのが全体的な感想でございます。

6月3日に県子ども会育成連絡協議会の総会がございました。2年ぶりの開催で表彰の関係で出席したところです。今回驚いたのですが、県の総会には来賓が来られますが、県知事、県議会議長、県教育庁が来られました。今までの総会で代理の方が一人もいなかったのは私の記憶では須賀知事時代以来のことです、県知事がコロナ禍の中で来られたのは、非常に社会教育に対する力の入れ方、意識が少しづつ出てきたのかということを感じたところです。あいさつの中でもその大切さを言われておりましたので、非常に重かったと感じたところでした。

6月6日に、市明るい選挙推進協議会の総会がございまして、この中で、学校関係の話としては例年選挙のポスター等を募集しているが非常に少ないというのがありました。委員の皆様方も意外と教育の実情、学校の実情というのを理解されていない方も多かったことから、生徒が少ないと、授業実数について話をしたところでした。応募のあったポスターは全て○○小学校からのもので、前の委員が○○小学校長であったことから○○小学校は応募されたと思いますが、これ以外でも色々とポスターの募集がありますのでなかなか難しいとの話をしていました。他の方々は何故たったこれだけの応募なのかとの疑問の声が上がっていましたが、実情はそのような問題があり、選挙に対する関心はまだまだ低いと感じました。また今回の報告で、田中・湯之尾・南永・羽月小学校の4校で「選挙の出前授業」があったとのことでしたが、これは非常に喜ばしいことだと思いました。「選挙の出前授業」については道徳の授業にも関連してきますので、これを生かして人を選ぶというのを授業の中に取り入れてもらったらとの話がありました。

私の方は以上でございます。

(森教育長)

はい、長野吉泰委員お願ひいたします。

(長野吉泰委員)

はい。私の方は学校訪問です。5月30日大口東小学校、6月6日山野小学校、6月9日羽月小学校、6月13日湯之尾小学校に参加しました。学校訪問に参加させていただき、各学校の校長、教頭はしっかりとビジョンを立てられて、先生方もそれぞれにそのビジョンにしっかりとついていかれている印象で、丁寧に一人ひとりを見てしっかりと授業をされているのが印象に残りました。

6月11日に山野小学校の学校運営協議会があり授業を観させていただきました。この時も非常に良い授業をされていましたが、常日頃からしっかりと丁寧に授業をされているのだと思ったところでした。

私からは以上です。

(永野治委員)

教育長一つよろしいでしょうか。

(森教育長)

はい、お願ひします。

(永野治委員)

学校訪問のことで一つ言い忘れていました。今回から学校教育課がよく指導されて、資料等が非常に良くて分かりやすかったです。半面学校の特色ある部分の説明の時間が無かつたりして、その中に盛り込めなかつたというのがありました。

もう一つですね、学力面の資料については比べやすかったです、体力面の向上の分の資料がある

ところとないところがありました。以前は全部付いていたと思いますが、その分も付けていただけたらと思ったところでした。資料で残らないとなかなか判断しにくいところもありますし、説明は頂いたのですが、文武両道ですので学力面と体力向上の資料を付けていただければと思いました。

(森教育長)

はい。ありがとうございました。

それでは、議事に進みます。

今回は、報告事項が2件、付議事件はございません。

では報告事項に入ります。

報告第12号「伊佐市社会教育委員、伊佐市大口ふれあいセンター運営審議会委員及び伊佐市菱刈ふるさといきがいセンター運営審議会委員の委嘱について」、事務局より説明をお願いいたします。

(平崎課長)

はい。資料は、3ページから5ページになります。

本件は、任期満了に伴い、伊佐市社会教育委員条例第3条の規定による伊佐市社会教育委員、伊佐市大口ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例第20条の規定による大口ふれあいセンター運営審議会委員、伊佐市菱刈ふるさといきがいセンターの管理及び運営に関する条例第19条の規定による伊佐市菱刈ふるさといきがいセンター運営審議会委員の14人を新たに委嘱することについて、緊急やむを得ないと認めたので伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第1号の規定により、教育長による臨時代理とし、同条2号の規定により報告するものです。なお、任期は令和4年6月1日から令和6年5月31日までの2年間としています。

以上で説明を終わります。

(森教育長)

はい。ただいまの事務局より説明がありましたけれども、何かご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(森教育長)

ご質問・ご意見等ないようですので、議決に入りたいと思います。

報告第12号「伊佐市社会教育委員、伊佐市大口ふれあいセンター運営審議会委員及び伊佐市菱刈ふるさといきがいセンター運営審議会委員の委嘱について」、承認される方は、挙手をお願いいたします。

(全員)

はい。

(森教育長)

賛成多数ですので、報告第12号は、承認されました。

次に、報告第13号「伊佐市教育支援委員会委員の委嘱について」、事務局より説明をお願いいたします。

(平崎課長)

はい。資料は、6ページから7ページになります。

本件は、伊佐市教育支援委員会条例第4条第1号に掲げる特別支援教育に関する教員が交代することに伴い、後任の委員を委嘱することについて、緊急やむを得ないと認めたので伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第1号の規定により、教育長による臨時代理とし、同条2号の規定により報告するものです。なお、任期は令和4年6月1日から令和5年3月31日までの前任者の残任期間の10か月間としています。

以上で説明を終わります。

(森教育長)

はい。ただいまの事務局より説明がありましたけれども、何かご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

(永野治委員)

よろしいでしょうか。

(森教育長)

はい。お願ひします。

(永野治委員)

交代に伴うものでしょうか。前任者はどなただったのですか。

(竹下課長)

前任者は、〇〇小学校の□□教諭です。

(森教育長)

その他ご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(森教育長)

ご質問・ご意見等ないようすで、議決に入りたいと思います。

報告第13号「伊佐市教育支援委員会委員の委嘱について」、承認される方は、挙手をお願いいたします。

(全員)

はい。

(森教育長)

賛成多数ですので、報告第13号は、承認されました。

以上で準備された議事については終わります。

次に、委員から提出された動議の討論等に入ります。前もって提出された動議はございませんが、何かございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(森教育長)

特にないようすで、以上で討論等を終わります。

その他の件に入ります。

学校教育課と学校給食センターより、教育委員の皆様にお伝えしたいことがあるようです。

まず、学校教育課長お願ひします。

(竹下課長)

はい。お手元に令和3年度及び令和4年度の、市内小・中学校16校の修学旅行の実施計画及び実施状況の資料をお配りいたしました。それに関する内容でご説明させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、小・中学校の修学旅行をやむを得ず延期又は中止した際に発生するキャンセル料等及び宿泊所や目的地変更などに伴い新たに発生する追加的費用を補うための負担金補助金及び交付金を、6月議会に上程いたしました。

財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当いたしますが、この交付金は、令和3年度及び令和4年度の修学旅行に適用します。

別紙資料のとおり既に昨年度の修学旅行において、2つの中学校の修学旅行で生じているキャンセル料等の助成を、6月議会終了後速やかに行うため、教育長の臨時代理により専決し、次回定例教育委員会で報告するものです。

修学旅行は、きわめて教育的意義の高い学校行事であるため、校長が今後新型コロナウイルス感染症の感染状況により延期又は中止を判断する際に、有効であると考えます。

以上です。

(森教育長)

はい。只今学校教育課長より説明がありましたが、ご質問ご意見等ございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(森教育長)

現在、議会の方に提案中でございますので、議決されましたらキャンセル料等に係る補助金を支払うことになります。また、どの様にしたかということにつきましては、後日、学校教育課より報告をしていただすこととなります。

続きまして、学校給食センター所長お願いいいたします。

(有馬所長)

はい。現在の学校給食費の状況につきまして、報告をさせていただきます。

現在、食材費が高騰している中でございますが、学校給食における食材につきましては、牛乳、パン、米等の主食につきましては、年間契約をしておりまして価格的には変動がない見込みでございます。また、一部の食材につきましては、4月から9月までの半年分の見積を行っておりまして、9月までは変動がない見込みでございますので、安定的に確保できている状況です。

今後も食材価格の動向を注視し、食材価格の高騰が出来る限り保護者の負担につながらないよう、給食の質と量を維持しながら引き続き対応に努めてまいります。

以上でございます。

(森教育長)

今後、原材料費、油、その他の物の値上がりで、給食費に課題が生じた場合にはどのような対応を考えているのですか。

(有馬所長)

はい。現在、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を給食費の方に活用できるということでございますので、この活用を視野に入れまして、補助金等も検討しながら進めて参りたいと思います。

(森教育長)

給食費を値上げせざるを得ない場合の対応はどうなるのですか。

(有馬所長)

はい。給食費の値上げが必要な場合には教育委員会で決定となっておりますので、その際には教育委員会の方で協議をお願いしたいと思います。

(森教育長)

それは分かりますが、その値上りとなった分はどうするのですか。

(有馬所長)

値上がり分は、交付金等を活用してということで考えているところでございます。

(森教育長)

もしも値上りした場合には、保護者に負担を求めないで、国の交付金等を利用して市が負担をすることですね。

(有馬所長)

はい、そのとおりです。

(長野吉泰委員)

よろしいでしょうか。

(森教育長)

はい。お願ひします。

(長野吉泰委員)

そのコロナ関連の交付金等は、年度ごとにあるのでしょうか。

(有馬所長)

今のところ今年度限りということでございます。

(長野吉泰委員)

来年度も国から交付金等は出るだろうという感じなのでしょうか。

(有馬所長)

来年度につきましては、今のところ情報は入っておりません。

(長野吉泰委員)

そのときは、保護者の負担が増えるということになるわけですね。

(有馬所長)

状況によっては可能性がございます。

(森教育長)

はい。今年度に限っては、保護者の負担は無いように市として考えていきたいと思います。これは国の方から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金がありますので、これで対応していくということになります。なお、今後どのようにしていくかということにつきましては、教育委員会内、また財政課などと協議して対応していかなければならないということでございます。

(長野吉泰委員)

給食関係でもう一つよろしいでしょうか。

(森教育長)

はい、お願ひします。

(長野吉泰委員)

ウクライナの戦争などで、食糧安全保障の話まで出てきています。小麦粉というのは今後どうしても値上がりをしていき、世界的に逼迫するといわれる中で、日本というのは有難いことに主食は米であります。現在米の給食が週4日ですが、残りの一日まで米にするとか、ご飯の量を増やしておかげで調整するとかできればよいのではと思ひます。ぜひ検討していただきたいと思います。

これは要望でございました。

よろしくお願ひします。

(森教育長)

他にないでしょうか

(全員)

ありません。

(教育長)

では、特にないようですので、これをもちまして、令和4年第6回定例教育委員会を閉会します。

(茶園係長)

姿勢を正して下さい。一同礼。